



4 年連続で国基準の待機児童ゼロを達成しました

～働きながら幼稚園という選択へ～

1 待機児童について

本市では子育て世代にも魅力的な「東京に隣接した子育てしやすいまち」として選ばれるまちづくりを進めるために「待機児童対策」を最優先課題として取り組んでまいりました。小規模保育施設を中心に整備をすすめると同時に、幼稚園での長時間の預かり保育を実施できる体制整備を促進してきた結果、平成 28 年度から 4 年連続で、平成 31 年 4 月の国基準の待機児童ゼロを達成しました。

保育園などへの申込については平成 29 年度に比べて今年度は、前年比 551 名の申し込みの増で、年々増加している状況です。入所保留者は昨年の入所保留者 118 名から、210 名へと 92 名ほど増加した結果となりました。主な内訳としては、特定の保育園のみを希望している方が昨年の 72 名に対し 148 名となり 76 人の増加をしています。その他、求職活動が確認できない方等については若干の増加となりましたが、緊急度が高い方々については全て受入ができたものと考えております。

次に、希望達成率ですが、第 1 希望、第 2 希望、第 3 希望までに入所できた割合が 83% で、前年度と同率となりました。兄弟がいる世帯のうち 89% が同一施設に入所しており、前年度に比較して 4.8 ポイント低下しております。

小規模保育施設の卒園児の進路については、3 歳の壁をつくらないための松戸市独自の幼稚園での預かり保育の拡充などにより小規模保育施設卒園後に幼稚園を利用する保護者が 60 名から 88 名に増加しました。平成 31 年度からは、長時間の預かりを実施する幼稚園も 13 園から 18 園へ増加する予定となっております。松戸地域、新松戸地域に加えて、新八柱駅前、東松戸駅前に幼稚園への送迎保育ステーションの整備を進め、保護者の保育活動の負担軽減などにつなげてまいります。

引き続き、本市の保育政策としては、0 歳から 2 歳は小規模保育施設で、3 歳から 5 歳は幼稚園で保護者がお子様にあった特色ある幼児教育を受けさせながら“働きながら幼稚園”を選択できるよう取り組んでまいります。



(1) 待機児童の現状

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
国基準の待機児童	0	0	0	0
入所保留者（実質的待機児童）	143	85	118	210

※平成 31 年度入所保留者（実質的待機児童）の内訳

平成31年度入所保留者 210名		
内訳	① 希望園限定	148人
	② 求職状況不明	36人
	③ 一時預かり保育利用	3人
	④ その他	23人

(2) 申込状況

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
申込者	7,307	7,926	8,624	9,175
前年比	+576	+619	+698	+551

(3) 入所希望達成率の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
第1希望	65%	59%	59%
第2希望	18%	15%	15%
第3希望	10%	9%	9%
計	93%	83%	83%

(4) 兄弟がいる世帯の入所状況

	平成 30 年度	平成 31 年度
兄弟で入所している世帯	1,341世帯/6,859世帯	1,463世帯/7,267世帯
うち、兄弟が同一施設に入所する世帯	1,260世帯：94.0%	1,305世帯：89.2%

(5) 小規模保育施設卒園児童の進路先

	卒園児数	進路先		
		認可保育園 認定こども園	幼稚園	その他 (転勤、自宅など)
平成 28 年度 卒	209人	154人	44人	11人
		(73.7%)	(21.1%)	(5.3%)
平成 29 年度 卒	269人	198人	60人	11人
		(73.6%)	(22.3%)	(4.1%)
平成 30 年度 卒	388人	288人	88人	12人
		(74.2%)	(22.7%)	(3.1%)



2 待機児童を解消するための取り組み (小規模保育施設卒園後、幼稚園の利用を促進)

共働き世帯や子育て世帯の増加など、保育園の利用申込者は年々増えています。低年齢児を対象として保育需要の高い地域に整備してきた小規模保育施設は、この4月に71施設となり県内1位の整備数となっています。

また3歳児以降では、市内18の幼稚園で長時間の預かり保育が実施できる体制が整い、小規模保育施設卒園後に保護者が就労していても幼稚園を利用しやすくなります。新年度は小規模保育施設から幼稚園への接続をスムーズにするための取り組みを進め、保護者の保育活動の負担軽減にもつなげていきます。

(1) 小規模保育施設の整備(0～2歳児) ※松戸市は県内1位の整備数

○保育施設の市町村比較(平成31年4月1日時点での見込み)

	松戸市	千葉市	船橋市	市川市	柏市
小規模保育施設	71箇所	65箇所	23箇所	27箇所	9箇所
保育園(認定こども園含む)	74箇所	225箇所	117箇所	124箇所	77箇所

(2) 幼稚園での長時間預かり保育の実施(3歳～5歳児)

35園中18園で実施(直営が12園、社会福祉法人への委託6園)

○預かり保育を充実させるための新たな支援策

①預かり保育人材確保支援補助金

幼稚園や事業を受託する社会福祉法人での人材確保するため、幼稚園や事業を受託する社会福祉法人が人材を確保するための広告宣伝費や人材派遣会社への紹介手数料などの要する経費を補助

②私立幼稚園連携支援補助金

小規模保育施設との連携や幼稚園での受け入れを促進するため、小規模保育施設との連携に要する経費、児童の受け入れに必要な経費の一部を補助

(3) 送迎保育ステーションの拡充(幼稚園の利用促進)

既設の松戸駅前、新松戸駅前に加え、来年4月の開園に向けて新八柱駅前、東松戸駅前に送迎保育ステーションを拡充することで、幼稚園のさらなる利用を促進する。

※小規模保育施設の6割が鉄道交差駅周辺に整備されており、こういった駅に送迎保育ステーションを整備することで小規模保育施設卒園後に、保護者は生活パターンを変えずに幼稚園を利用することができるようになります。



3 その他の取り組み

●市内全ての認可保育施設で紙おむつの持ち帰りを廃止

「保育所等で子どもが使用した紙おむつを保護者が持ち帰ることが、保護者の衛生面での不安や保育士の負担につながっている。」

こういった認識から、本市の公立保育所では平成29年度から紙おむつを園で処理することとし、保護者による紙おむつの持ち帰りを廃止しました。

そして新年度からは民間保育園、小規模保育施設においても園での処理を徹底することで、市内すべての認可保育施設で紙おむつの持ち帰りが廃止となります。

【問い合わせ先】

子ども部 幼児保育課 ☎047-366-7351